
孤立した島での日々

チェスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

孤立した島での日々

【Nコード】

N77390

【作者名】

チェスター

【あらすじ】

太平洋側に浮かぶ島神七島

豊かなこの島に死者が生き返るというウイルスが運ばれた。学校中にその話は広まり幸太と健二は確かめる。
はたして本物なのだろうか？それとも……………

話題

太平洋に浮かぶ島「神七島」ここは資源が豊富で農業、漁業が盛んである。

江戸時代末期に移り住んだといわれている。ここは7つの伝説があるが不明だそうだ。

季節は冬、島で一つしかない七草高等学校はある話題にみんな夢中だった。

少年の名は幸太スポーツが万能・不良・頭は普通・クラスのみんなから好かれているが学校では問題児だ。

幸太「なあなあその話ってほんとかよ」と幸太が目を丸くする。聞かれたのは幸太の親友健二だ、同じ不良で幼じみである。

健二「あ？学校に運ばれてくるウィルスのことか？」健二が知らないのかよって顔で見ってくる。

幸太「そうそれお前が聞いたんだろ。」

健二「おう、なんとそれはな死者を復活させるんだってよ。まるで夢のような話だな。」

キーーーーーンコーーーーーンカーーーーーンコーーーーーン
ーインチャイムが鳴った

先生「おおい早く座りなさい」先生の名は茂一うるさくてハゲててむっつりでクラスで唯一なりたくない大人

BEST1に選ばれている。ほどウザい教科は数学。

放課後幸太と健二は、学校の屋上でその時を待っていた。例のウィルスである。

幸太「しかしお前よく時間・場所・渡される人までよくきいてたなあ。」双眼鏡でみながらいった。

健二「だろ？それでも何で学校側に渡すんだろ。しかも渡す場所の学校の給食室の裏がこんなに丸見えだぜw」

そっして話しているうちに黒いスーツをきた男の人2人が給食室の

裏まで来た。

幸太「おいあれだあの黒いケースだな。」心に期待が沸いた。
するとそこに俺らの理科の担当杉本がきた。

健二「よし今だな」健二は家にあった高画質カメラを取り出した。
カシャカシャ・・・・・・「よし完璧」

そのときだった！

茂一先生「おい！！お前らなにしとんねん。」

話題（後書き）

この1話はグロないです・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7739o/>

孤立した島での日々

2010年11月7日23時12分発行